

官報 号外

平成十八年九月二十八日

○第百六十五回国会 参議院会議録第二号（その一）

平成十八年九月二十八日（木曜日）

午前十時一分開議

○議事日程 第二号

平成十八年九月二十八日

午前十時開議

第一 常任委員長の選挙

○本日の会議に付した案件

- 一、議員辞職の件
- 一、常任委員長辞任の件
- 一、日程第一
- 一、特別委員会設置の件

○議長（扇千景君） これより会議を開きます。

この際、議員の辞職についてお諮りいたします。

去る二十六日、竹中平蔵君から議員辞職願が提出されました。

辞表を参事に朗読させます。

〔参事朗読〕

辞職願

この度一身上の都合により議員を辞職いたしましたので、ご許可くださるようお願い申し上げます。

平成十八年九月二十六日

参議院議員 竹中 平蔵

参議院議長 扇 千景殿

○議長（扇千景君） 竹中平蔵君の議員辞職を許可することに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長（扇千景君） 御異議ないと認めます。

よって、許可することに決しました。

○議長（扇千景君） この際、常任委員長の辞任についてお諮りいたします。

内閣委員長工藤堅太郎君、法務委員長弘友和夫君、外交防衛委員長舩添要一君、財政金融委員長池口修次君、文教科学委員長中島啓雄君、厚生労働委員長山下英利君、農林水産委員長岩城光英

君、経済産業委員長加納時男君、国土交通委員長羽田雄一郎君、環境委員長福山哲郎君、国家基本政策委員長今泉昭君、予算委員長小野清子君、決算委員長中島眞人君、行政監視委員長荒木清寛君、懲罰委員長朝日俊弘君から、それぞれ常任委員長を辞任したいとの申出がございました。いずれも許可することに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長（扇千景君） 御異議ないと認めます。

よって、いずれも許可することに決しました。

○議長（扇千景君） 日程第一 常任委員長の選挙

これより、ただいま辞任を許可されました常任委員長並びに欠員中の総務委員長及び議院運営委員長長の選挙を行います。

つきましては、常任委員長の選挙は、その手続を省略し、いずれも議長において指名することに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長（扇千景君） 御異議ないと認めます。

よって、議長は、内閣委員長に藤原正司君を指名いたします。

〔拍手〕

総務委員長に山内俊夫君を指名いたします。

〔拍手〕

法務委員長に山下栄一君を指名いたします。

〔拍手〕

外交防衛委員長に柏村武昭君を指名いたします。

す。

〔拍手〕

財政金融委員長に家西悟君を指名いたします。

〔拍手〕

文教科学委員長に荒井正吾君を指名いたします。

す。

〔拍手〕

厚生労働委員長に鶴保庸介君を指名いたします。

す。

〔拍手〕

農林水産委員長に加治屋義人君を指名いたします。

す。

〔拍手〕

経済産業委員長に伊達忠一君を指名いたします。

す。

〔拍手〕

国土交通委員長に大江康弘君を指名いたします。

す。

〔拍手〕

環境委員長に大石正光君を指名いたします。

〔拍手〕

国家基本政策委員長に前田武志君を指名いたします。

〔拍手〕

予算委員長に尾辻秀久君を指名いたします。

〔拍手〕

決算委員長に泉信也君を指名いたします。

〔拍手〕

行政監視委員長に草川昭三君を指名いたします。

〔拍手〕

議院運営委員長に市川一朗君を指名いたします。

〔拍手〕

懲罰委員長に江田五月君を指名いたします。

〔拍手〕

○議長(屬千景君) この際、特別委員会の設置についてお諮りいたします。

災害に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため、委員二十名から成る災害対策特別委員会を、

沖縄及び北方問題に関する対策樹立に資するため、委員二十名から成る沖縄及び北方問題に関する特別委員会を、

政治倫理の確立及び選挙制度に関する調査のため、委員三十五名から成る政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会を、

北朝鮮による拉致等に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため、委員二十名から成る

北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会を、

また、政府開発援助を始めとする国際援助・協力に関する諸問題を調査するため、委員三十名から成る政府開発援助等に関する特別委員会を、それぞれ設置したいと存じます。御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(屬千景君) 御異議ないと認めます。

よって、災害対策特別委員会外四特別委員会を設置することに決しました。

本院規則第三十条の規定により、議長は、議席に配付いたしました氏名表のとおり特別委員を指名いたします。

議長の指名した委員は左のとおり

○災害対策特別委員

岩井 國臣君	岩永 浩美君
大仁田 厚君	小池 正勝君
小泉 昭男君	田村 公平君
中川 義雄君	西島 英利君
野村 哲郎君	松村 祥史君
小林 元君	榎葉賀津也君
那谷屋正義君	羽田雄一郎君
広田 一君	松下 新平君
水岡 俊一君	福本 潤一君
山本 香苗君	仁比 聡平君

○沖縄及び北方問題に関する特別委員

秋元 司君	魚住 汎英君
佐藤 泰三君	伊達 忠一君
西銘順志郎君	橋本 聖子君
水落 敏栄君	山本 順三君
脇 雅史君	小川 勝也君
喜納 昌吉君	黒岩 宇洋君
主濱 了君	藤本 祐司君
円 より子君	山根 隆治君
遠山 清彦君	渡辺 孝男君
紙 智子君	大田 昌秀君
浅野 勝人君	荒井 正吾君
泉 信也君	市川 一朗君
荻原 健司君	木村 仁君
小泉 顕雄君	鴻池 祥肇君
山東 昭子君	谷川 秀善君
鶴保 庸介君	中原 爽君
藤野 公孝君	真鍋 賢二君
森元 恒雄君	吉村剛太郎君
足立 信也君	黒岩 宇洋君
佐藤 道夫君	島田智哉子君
下田 敦子君	高嶋 良充君
谷 博之君	福山 哲郎君
藤原 正司君	山下八洲夫君
和田ひろ子君	渡辺 秀央君

○北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員

西田 実仁君	弘友 和夫君
山口那津男君	山本 保君
井上 哲士君	又市 征治君
長谷川憲正君	
岡田 直樹君	景山俊太郎君
河合 常則君	岸 宏一君
北川イッセイ君	末松 信介君
田中 直紀君	藤井 基之君
松山 政司君	今泉 昭君
工藤堅太郎君	白 眞勲君
林 久美子君	広野ただし君
森 ゆうこ君	柳田 稔君
風間 昶君	木庭健太郎君
緒方 靖夫君	後藤 博子君
阿部 正俊君	岩井 國臣君
太田 豊秋君	柏村 武昭君
岸 信夫君	小泉 昭男君
坂本由紀子君	田村耕太郎君
武見 敏三君	中川 雅治君
福島啓史郎君	山内 俊夫君
山崎 正昭君	山本 一太君
朝日 俊弘君	犬塚 直史君
江田 五月君	小川 敏夫君
大久保 勉君	加藤 敏幸君

○議長(扇千景君) 本日はこれにて散会いたします。

午前十時九分散会

出席者は左のとおり。

議長		副議長		議員	
議長	扇 千景君	副議長	角田 義一君	近藤 正道君	浜田 昌良君
				鰐淵 洋子君	又市 征治君
				谷合 正明君	澤 雄二君
				坂本由紀子君	大田 昌秀君
				遠山 清彦君	浮島とも子君
				山本 香苗君	小泉 昭男君
				山本 貞雄君	渡辺 孝男君
				山本 保君	高野 博師君
				福本 潤一君	木村 仁君
				佐藤 昭郎君	福島みづほ君
				田 英夫君	加藤 修一君
				西田 実仁君	松 あきら君
				弘友 和夫君	加納 時男君
				岩城 光英君	山下 栄一君
				山口那津男君	魚住裕一郎君
				荒木 清寛君	太田 豊秋君
				浅野 勝人君	山崎 力君
				金田 勝年君	浜四津敏子君
				風間 昶君	白浜 一良君
				草川 昭三君	木庭健太郎君
				狩野 安君	魚住 汎英君
				山崎 正昭君	杓掛 哲男君
				山谷えり子君	愛知 治郎君
				野上浩太郎君	岡田 広君
				有村 治子君	末松 信介君
				中川 雅治君	中村 博彦君
				二之湯 智君	西島 英利君
				野村 哲郎君	小池 正勝君
				北川イツセイ君	岸 信夫君
				河合 常則君	荻原 健司君
				椎名 一保君	中川 義雄君
				山内 俊夫君	世耕 弘成君
				関口 昌一君	藤野 公孝君
				小泉 顕雄君	常田 享詳君
				田村 公平君	田浦 直君
				大野つや子君	伊達 忠一君
				国井 正幸君	阿部 正俊君
				林 芳正君	鈴木 政二君
				三浦 一水君	松村 龍二君
				岸 宏一君	中原 爽君
				泉 信也君	景山俊太郎君
				溝手 顕正君	松田 岩夫君
				吉村剛太郎君	佐藤 泰三君
				尾辻 秀久君	清水嘉与子君
				小野 清子君	鴻池 祥肇君
				田中 直紀君	若林 正俊君
				片山虎之助君	小斉平敏文君
				小林 温君	吉田 博美君
				長谷川憲正君	後藤 博子君
				松村 祥史君	水落 敏栄君
				亀井 郁夫君	田村 秀昭君
				荒井 広幸君	田村耕太郎君
				岡田 直樹君	秋元 司君
				柏村 武昭君	松山 政司君
				舩添 要一君	加治屋義人君
				西銘順志郎君	川口 順子君
				中島 啓雄君	荒井 正吾君
				山本 順三君	脇 雅史君
				鶴保 庸介君	森元 恒雄君
				岩永 浩美君	山本 一太君
				中島 眞人君	矢野 哲朗君
				保坂 三蔵君	武見 敬三君
				市川 一朗君	南野知恵子君
				岩井 國臣君	北岡 秀二君
				谷川 秀善君	青木 幹雄君
				西田 吉宏君	陣内 孝雄君
				中曾根弘文君	真鍋 賢二君
				山東 昭子君	竹山 裕君
				櫻井 新君	関谷 勝嗣君
				倉田 寛之君	鈴木 陽悦君
				尾立 源幸君	藤末 健三君
				富岡由紀夫君	松下 新平君
				藤本 祐司君	足立 信也君
				那谷屋正義君	白 眞勲君
				下田 敦子君	小林 正夫君
				柳澤 光美君	喜納 昌吉君
				主濱 了君	芝 博一君
				池口 修次君	大江 康弘君
				若林 秀樹君	森 ゆうこ君
				辻 泰弘君	松井 孝治君
				広野ただし君	佐藤 雄平君
				小川 敏夫君	櫻井 充君
				福山 哲郎君	浅尾慶一郎君
				木俣 佳丈君	加藤 敏幸君
				峰崎 直樹君	直嶋 正行君
				山本 孝史君	円 より子君
				和田ひろ子君	小林 元君
				佐藤 道夫君	高嶋 良充君
				田名部匡省君	江田 五月君

西岡 武夫君 渡辺 秀央君 大石 正光君 蓮 舫君 広田 一君 島田智哉子君 前川 清成君 松岡 徹君 犬塚 直史君 紙 智子君 榛葉賀津也君 黒岩 宇洋君 井上 哲士君 高橋 千秋君 神本美恵子君 緒方 靖夫君 内藤 正光君 平田 健二君 工藤堅太郎君 市田 忠義君 興石 東君 伊藤 基隆君 岡崎トミ子君 佐藤 泰介君 北澤 俊美君	議長の報告事項 一昨二十六日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。 内閣委員 林 久美子君 仁比 聡平君 大久保 勉君 小林美恵子君 津田弥太郎君 水岡 俊一君 鈴木 寛君 ツルネ マルティ君 大門実紀史君 羽田雄一郎君 藤原 正司君 山根 隆治君 小池 晃君 朝日 俊弘君 家西 悟君 吉川 春子君 今泉 昭君 築瀬 進君 千葉 景子君 前田 武志君 柳田 稔君	議長報告事項 一昨二十六日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。 内閣委員 林 久美子君 仁比 聡平君 大久保 勉君 小川 雅治君 島田智哉子君 榛葉賀津也君 津田弥太郎君 尾立 源幸君 那谷屋正義君 柳澤 光美君 補欠 岡田 直樹君 大久保 勉君 平田 健二君 尾立 源幸君	第百六十三回国会及び第百六十四回国会に、前内閣総理大臣から衆議院に提出し、同院において継続審査中の内閣提出議案については、同院議長に対し別紙のとおり申出をいたしましたから、御了承願います。 別紙 平成十八年九月二十六日 内閣総理大臣 安倍 晋三 衆議院議長 河野 洋平殿 第百六十三回国会及び第百六十四回国会に、前内閣総理大臣から提出し、貴院において継続審査中の左記議案は、その審議を進められるようお取り計らい願います。 記 ◎第百六十三回国会に提出し、継続審査中のもの ○法律案 一、犯罪の国際化及び組織化並びに情報処理の高度化に対処するための刑法等の一部を改正する法律案 ◎第百六十四回国会に提出し、継続審査中のもの ○法律案 一、少年法等の一部を改正する法律案 一、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律案
---	--	--	---

- 一、ねんきん事業機構法案
- 一、国民年金事業等の運営の改善のための国民年金法等の一部を改正する法律案
- 一、信託法案
- 一、信託法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案
- 一、教育基本法案
- 一、道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律案
- 一、防衛庁設置法等の一部を改正する法律案
- 承諾を求めるの件
- 一、平成十七年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その一)
- 一、平成十七年度特別会計予算総則第十三条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その一)
- 一、平成十七年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書(その二)
- 一、平成十七年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書
- 一、平成十七年度特別会計予算総則第十三条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書(その二)
- 承認を求めるの件
- 一、地方自治法第五十六條第四項の規定に基づき、社会保険事務所の設置に関し承認を求めるの件

同日衆議院議長から、国会は衆議院議員安倍晋三君を内閣総理大臣に指名したことを奏上した旨の通知書を受領した。

昨二十七日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

内閣委員

辞任 補欠

竹山 裕君 林 芳正君

中曾根弘文君 田村耕太郎君

喜納 昌吉君 神本美恵子君

芝 博一君 朝日 俊弘君

柳澤 光美君 郡司 彰君

総務委員

辞任 補欠

椎名 一保君 河合 常則君

平田 健二君 前田 武志君

藤本 祐司君 今泉 昭君

蓮 舫君 芝 博一君

法務委員

辞任 補欠

谷川 秀善君 岡田 広君

外交防衛委員

辞任 補欠

愛知 治郎君 関口 昌一君

浅野 勝人君 松山 政司君

金田 勝年君 北川イツセイ君

今泉 昭君 喜納 昌吉君

財政金融委員

辞任 補欠

田村耕太郎君 椎名 一保君

櫻井 充君 家西 悟君

山本 孝史君 円 より子君

文教科学委員

辞任 補欠

河合 常則君 水落 敏栄君

神本美恵子君 蓮 舫君

厚生労働委員

辞任 補欠

岡田 広君 谷川 秀善君

水落 敏栄君 中曾根弘文君

朝日 俊弘君 山本 孝史君

家西 悟君 柳澤 光美君

円 より子君 櫻井 充君

農林水産委員

辞任 補欠

郡司 彰君 谷 博之君

経済産業委員

辞任 補欠

北川イツセイ君 金田 勝年君

林 芳正君 竹山 裕君

松山 政司君 浅野 勝人君

山根 隆治君 広野ただし君

国土交通委員

辞任 補欠

前田 武志君 藤本 祐司君

環境委員

辞任 補欠

関口 昌一君 愛知 治郎君

谷 博之君 山根 隆治君

広野ただし君 平田 健二君

国家基本政策委員

辞任 補欠

江田 五月君 円 より子君

小林 元君 前田 武志君

榛葉賀津也君 郡司 彰君

予算委員

辞任 補欠

市川 一朗君 脇 雅史君

岩永 浩美君 武見 敬三君

岸 宏一君 国井 正幸君

中川 雅治君 岡田 直樹君

大塚 直史君 広田 一君

小川 敏夫君 広野ただし君

黒岩 宇洋君 前川 清成君

櫻井 充君 福山 哲郎君

辻 泰弘君 芝 博一君

内藤 正光君 池口 修次君

平野 達男君 佐藤 雄平君

前田 武志君 山根 隆治君 若林 秀樹君 加藤 修一君 山口那津男君 渡辺 孝男君 峰崎 直樹君 白 眞勲君 島田智哉子君 木庭健太郎君 遠山 清彦君 鰐淵 洋子君	議長運営委員 辞任 岡田 直樹君 北川イッセイ君 小泉 顕雄君 椎名 一保君 林 芳正君 山本 保君 鰐淵 洋子君 補欠 中川 雅治君 市川 一朗君 岸 宏一君 山本 順三君 岩永 浩美君 西田 実仁君 浮島とも子君	決算委員 辞任 国井 正幸君 武見 敬三君 山本 順三君 郡司 彰君 佐藤 雄平君 谷 博之君 和田ひろ子君 高野 博師君 西田 実仁君 補欠 野上浩太郎君 金田 勝年君 愛知 治郎君 足立 信也君 犬塚 直史君 藤本 祐司君 高橋 千秋君 加藤 修一君 弘友 和夫君	懲罰委員 辞任 千葉 景子君 柳田 稔君 補欠 江田 五月君 山本 孝史君	行政監視委員 辞任 足立 信也君 岩本 司君 小川 勝也君 大塚 耕平君 芝 博一君 渡辺 秀央君 浮島とも子君 補欠 松下 新平君 千葉 景子君 櫻井 充君 大江 康弘君 鈴木 寛君 家西 悟君 渡辺 孝男君	同日議長において、次のとおり調査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。 国際問題に関する調査会委員 辞任 水落 敏栄君 大塚 耕平君 郡司 彰君 主濱 了君 広野ただし君 前田 武志君 浮島とも子君 澤 雄二君 補欠 田中 直紀君 喜納 昌吉君 若林 秀樹君 犬塚 直史君 直嶋 正行君 峰崎 直樹君 浜田 昌良君 谷合 正明君	同日議長において、次のとおり憲法調査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。 辞任 荒井 正吾君 武見 敬三君 藤野 公孝君 若林 正俊君 犬塚 直史君 鈴木 寛君 高嶋 良充君 ルン マルティ君 内藤 正光君 補欠 三浦 一水君 金田 勝年君 野上浩太郎君 愛知 治郎君 白 眞勲君 那谷屋正義君 千葉 景子君 小川 敏夫君 津田弥太郎君	同日議長において、次のとおり政治倫理審査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。 辞任 武見 敬三君 江田 五月君 平田 健二君 前田 武志君 円 より子君 補欠 脇 雅史君 渡辺 秀央君 柳田 稔君 西岡 武夫君 山下八洲夫君	経済・産業・雇用に関する調査会委員 辞任 池口 修次君 大久保 勉君 谷 博之君 津田弥太郎君 峰崎 直樹君 浜田 昌良君 補欠 下田 敦子君 藤本 祐司君 小林 元君 柳澤 光美君 尾立 源幸君 澤 雄二君 福山 哲郎君 藤本 祐司君 山本 孝史君 山下 栄一君 同日議長において、次のとおり政治倫理審査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。 辞任 武見 敬三君 江田 五月君 平田 健二君 前田 武志君 円 より子君 補欠 脇 雅史君 渡辺 秀央君 柳田 稔君 西岡 武夫君 山下八洲夫君 芝 博一君 大久保 勉君 小林 正夫君 荒木 清寛君 〔参照〕 九月二十七日議長において、左のとおり議席を変更した。 三 浜田 昌良君 一〇 澤 雄二君 一四 遠山 清彦君
--	---	---	--	--	---	--	--	--

九月二十八日議長において、左のとおり議席を
変更した。

一六〇	山本 香苗君
一八五	山本 保君
二一〇	西田 実仁君
二二一	山下 栄一君
二二二	山口那津男君
二二三	魚住裕一郎君
二三四	荒木 清寛君
二三五	山根 隆治君
二二二	木俣 佳丈君
二二一	羽田雄一郎君
二二〇	高橋 千秋君
二一九	谷 博之君
二一八	藤原 正司君
二一七	神本美恵子君
二一六	山根 隆治君

官報 号外

平成十八年九月二十八日

○第百六十五回国参議院會議録第二号(その二)

平成十八年九月二十八日(木曜日)

開会式

午後零時五十九分 参議院議長、衆議院参議院の副議長、常任委員長、特別委員長、参議院の調査会長、憲法調査会会長、衆議院参議院の議員、内閣総理大臣その他の國務大臣、最高裁判所長官及び会計検査院長は、式場に入り、所定の位置に着いた。

午後一時 天皇陛下は、衆議院議長の前行で式場に入られ、お席に着かれた。

〔一同敬礼〕

午後一時一分 衆議院議長河野洋平君は、式場の中央に進み、次の式辞を述べた。

式辞

天皇陛下の御臨席をいただき、第百六十五回国会の開会式を行うにあたり、衆議院及び参議院を代表して、式辞を申し述べます。

今日、わが国をめぐる内外の諸情勢はまことにきびしく、緊急に解決すべき幾多の重要問題があります。

われわれは、この際、決意を新たに、すみやかに適切な施策を講じ、もって国民生活の安定向上につとめるとともに、世界平和の確立に一層大きな役割を果たしていかなければなりません。

ここに、開会式にあたり、われわれに課せられた重大な使命にかんがみ、日本国憲法の精神にのっとり、おのおの最善をつくしてその任務を遂行し、もって国民の信託にこたえようとするものであります。

次いで、天皇陛下から次のおことばを賜った。

おことば

本日、第百六十五回国会の開会式に臨み、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。

ここに、国会が、国権の最高機関として、当面する内外の諸問題に対処するに当たり、その使命を十分に果たし、国民の信託にこたえることを切に希望します。

〔一同敬礼〕

衆議院議長は、おことば書をお受けした。

午後一時六分 天皇陛下は、参議院議長の前行で式場を出られた。

次いで、一同は式場を出た。

午後一時七分式を終わる

明治三十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

発行所	
〒一〇五-八四四五 二番四号 独立行政法人国立印刷局	東京都港区虎ノ門二丁目
電 話	
03 (3587) 4294	
定 価	
本体	本号一部
一〇円	二五円